

efit+ for TCU Ver.1.3.11.0 アップデート概要

2015年6月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.3.11.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for TCU Ver.1.3.11.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	外部機器との通信方法追加
efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	
efit+T 測量計算	B-E1-T51		
efit+T 線形計算	B-E1-T52		
efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		
efit+T 平板観測	B-E1-T54		
efit+T GPS観測	B-E1-T55		
efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		
efit+T 地籍観測	B-E1-T57		
efit+T Nikon通信OP	B-E1-T58		
efit+T 定点観測	B-E1-T59		

■ TS モードに外部機器との通信方法追加

- ◆外部機器から遠隔操作が行える通信方法 (NTRobo プロトコル) を TS モードに追加しました。
本通信方法に対応しているのは、「GUIDER ZERO」の「Robotic PILOT」のみです。
- ◆「TS モード条件設定」の「通信設定」画面内に「NTRobo プロトコルを使用する」の設定を追加しました。
「Robotic PILOT」と接続する時は、チェックを付けます。



※「NTRobo プロトコル」を使用する時は、通信距離の設定は行えません。(通信距離は、斜距離となります)

◆本通信方法は、無線通信 (Bluetooth) を想定したものですので、直接ケーブルを接続しての利用は行いません。

◆「Robotic PILOT」との接続については、本体下部の通信ポートに「53002021:TCU PC 接続 RS232C ケーブル」もしくは、「73841019:TCU メモリ接続ケーブル」を装着し、ケーブルの先に「Bluetooth モジュール」を装着し、「GUIDER ZERO」とペアリング設定行って通信を行います。

以上